マンスリーレポート

黄　河　（愛　称）

正式名称：日興ＡＭ中国Ａ株ファンド

＊2025年9月1日付でファンドの名称を「日興AM中国A株ファンド」から「中国A株ファンド」に変更します。

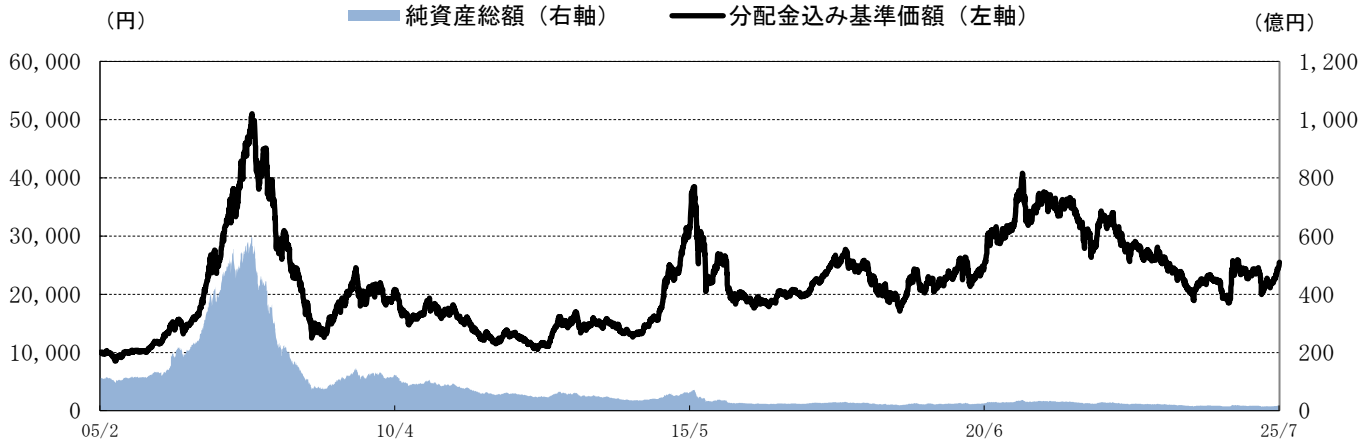
ファンドの概要
設定日　2005年2月28日
信託期間　無期限
決算日　毎年9月21日
（休業日の場合は翌営業日）
分配時期　決算日毎

ファンドの特色
1.QFII制度を利用して、中華人民共和国（以下「中国」）企業の人民元建株式に直接投資します。
2.上海証券取引所、深セン証券取引所に上場する中国Ａ株を中心に投資します。
3.日興アセットマネジメント アジア リミテッドがマザーファンドの運用を行ないます。
＊2025年9月1日、日興アセットマネジメント アジア リミテッドは「アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッド」に社名変更します。

運　用　実　績

※当レポートでは基準価額を１万口当たりで表示しています。
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

＜基準価額の推移グラフ＞



※分配金込み基準価額は、信託報酬控除後の値です。
※信託報酬は、後述の「手数料等の概要」をご参照下さい。
※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

基準価額　：　25,379円
純資産総額：　17.58億円

＜資産構成比率＞

株式		95.6%
	うち先物	0.0%
現金その他		4.4%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

＜基準価額の騰落率＞

１ヵ月	３ヵ月	６ヵ月	１年	３年	設定来
12.59%	21.16%	9.68%	24.85%	-21.80%	154.91%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

＜基準価額騰落の要因分解＞

前月末基準価額	22,541円
株式等要因	2,234円
為替要因	652円
分配金・その他	-48円
当月末基準価額	25,379円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

＜分配金実績（税引前・１万口当たり）＞

設定来合計	2020/9/23	2021/9/21	2022/9/21	2023/9/21	2024/9/24
100円	0円	0円	0円	0円	0円

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの内容

※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。
※2021年4月6日に「深セン市場 中小企業板」が「深セン市場 メインボード」に統合されたため、下記＜上場市場別組入比率＞＜組入上位10銘柄＞の「上場市場」の項目では「深セン市場 メインボード」で表示しています。

＜通貨別投資比率＞

	通貨	比率
1	人民元	88.0%
2	香港ドル	12.1%
3		
4		
5		
6		

＜上場市場別組入比率＞

上場市場		比率
深セン市場		29.1%
	メインボード	15.1%
	創業板	14.0%
上海市場		54.9%
	メインボード	45.0%
	科創板	9.8%
香港市場		11.7%
その他市場		1.4%

＜組入上位10業種＞

	業種	比率
1	テクノロジー・ハードウェア	16.9%
2	資本財	13.2%
3	銀行	12.3%
4	半導体・半導体製造装置	11.3%
5	素材	8.3%
6	保険	6.5%
7	医薬品・バイオテクノロジー	5.7%
8	ソフトウェア・サービス	5.2%
9	耐久消費財・アパレル	5.0%
10	金融サービス	4.5%

※業種分類は当社の分類によるものです。

＜組入上位10銘柄＞　（銘柄数：68銘柄）

	銘柄名	通貨	上場市場	業種	比率
1	CHINA MERCHANTS BANK-A マーチャント・バンク	中国元	上海市場　メインボード	銀行	3.53%
2	CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A コンテンポラリー・アンペレックス・テクノロジー	中国元	深セン市場　創業板	資本財	2.94%
3	PING AN INSURANCE GROUP CO-A ピンアン・インシュアランス	中国元	上海市場　メインボード	保険	2.92%
4	WUXI APPTEC CO LTD-A ウーシー・アプテック	中国元	上海市場　メインボード	医薬品・バイオテクノロジー	2.62%
5	NEW CHINA LIFE INSURANCE CO-H ニュー・チャイナ・ライフ・インシュアランス	香港ドル	香港市場	保険	2.54%
6	BANK OF JIANGSU CO LTD-A バンク・オブ・ジャンスー	中国元	上海市場　メインボード	銀行	2.43%
7	EOPTOLINK TECHNOLOGY INC L-A エオプトリンク・テクノロジー	中国元	深セン市場　創業板	テクノロジー・ハードウェア	2.37%
8	JIANGSU HENGRUI MEDICINE CO-A ジャンスー・ハンルイ・メディスン	中国元	上海市場　メインボード	医薬品・バイオテクノロジー	2.27%
9	KINGNET NETWORK CO LTD-A キングネット・ネットワーク	中国元	深セン市場　メインボード	メディア・娯楽	2.26%
10	SEMICONDUCTOR MANUFACTURING SMIC	香港ドル	香港市場	半導体・半導体製造装置	2.19%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。
※2018年10月31日現在よりISINコードで銘柄を統合した表記にしています。

＜規模別構成比率＞

時価総額	比率
超大型株（５兆円以上）	30.7%
大型株（１兆円以上５兆円未満）	19.1%
中型株（3,000億円以上１兆円未満）	33.6%
小型株（3,000億円未満）	13.7%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント　※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

当月の中国Ａ株市場は、前月末比で上昇しました。

当月は、ばらつきのある経済指標がみられたものの、過当競争是正を目的とした「反内巻政策」の具体的な内容が徐々に明らかになりつつあるほか、米中通商協議において一定の進展がみられたことなどを背景に、投資家心理が改善し、株式市場は上昇しました。新エネルギー車、オンライン・フード・デリバリー、重工業などのセクターでは、規制当局が過度な競争に対処する姿勢を示しており、こうした国主導のトップダウン型の政策メッセージにより、競争激化に直面していた企業の業績改善が期待され、長期的な利益成長と収益性の向上につながるとの見方から、関連銘柄の株価が上昇し、市場を牽引しました。また、中国副首相が米国との通商協議のためにスウェーデンのストックホルムを訪問したことにより、米中関係に雪解けの兆しがみられたことも、投資家心理の改善を後押しする要因となりました。

セクター別では、ヘルスケア、情報技術、鉄鋼、機械などが市場を牽引した一方で、金融、公益事業、運輸、食品・飲料、衣料小売りなどは出遅れました。

◎運用概況

当ファンドの基準価額は前月末比で上昇しました。

当月は、第２四半期に予想を上回る業績成長が確認されたことを受け、ＡＩ（人工知能）関連の通信・電子機器銘柄を買い付けました。一方、ＥＶ用電池、風力発電、半導体関連銘柄については一部売却しました。

また、市場の調整局面において、業績が振るわなかったペットフード、二輪車などの消費関連銘柄を割安水準で拾い買いしました。これらの銘柄は、今後数年で堅調な収益成長が期待され、足元のバリュエーション（株価評価）も魅力があるとみています。

◎今後の見通し

今後の市場は、政策支援や企業業績の持ち直し、安定した資金流動性を背景に、緩やかな回復基調が続くと見込まれます。こうした環境下では、構造的な成長機会も期待されます。

短期的には、今後数カ月に予定されている政策関連イベントに注目しています。７月の中国共産党政治局会議では、大規模な景気刺激策の発表は見送られ、既存政策の最適化が強調されました。そのため、市場は支援の方向性を見極めるべく、10月に開催予定の第４回全体会議（４中全会）からの新たな政策シグナルに注目しています。

また、７月に発表された経済指標はばらつきのある結果でしたが、財政刺激策の継続と緩和的な金融政策（預金準備率（ＲＲＲ）の引き下げの可能性を含む）が市場の下支えとなっているとみられます。加えて、米国では９月の米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）による利下げ観測が強まっており、これが米ドル安を促すことで、新興国資産への圧力が緩和され、市場の流動性改善につながる可能性があります。

一方、８月は中間決算発表のピークを迎え、市場の変動要因となる可能性があります。決算内容がまちまちであれば、割高なテーマ株には調整圧力がかかる可能性がありますが、優良企業においてはフリー・キャッシュ・フローの改善傾向が確認される見通しであり、長期的にはバリュエーションの下支えとなると考えられます。

８月は、第２四半期決算の発表を受けてポートフォリオの見直しを行う予定です。好業績および好業績予想の銘柄が確認された場合には、期待外れの決算となった銘柄からの入れ替えを検討します。ＡＩハードウェア関連銘柄は、他セクターを上回る業績成長が見込まれ、引き続き注目銘柄と位置づけています。また、足元で組入比率が低めとなっている消費者関連やヘルスケア関連銘柄については、バリュエーションの魅力度を踏まえ、積み増しを検討しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考情報　※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
※記載の見解等は、作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

＜組入上位10銘柄の銘柄概要＞

1 CHINA MERCHANTS BANK-A　/　マーチャント・バンク　/　招商銀行
リテールバンキングを強みとする商業銀行。後発ながらウェルスマネジメント等で高い収益性を保ち、時価総額では大手国有銀行に匹敵する規模に成長している。

2 CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A　/　コンテンポラリー・アンペレックス・テクノロジー　/　寧徳時代新能源科技
車載電池メーカーとして世界最大手。バッテリー材料、蓄電池、蓄電池セル、システム、その他製品を製造・販売する。中国のみならず世界のEV業界成長から恩恵を受ける。

3 PING AN INSURANCE GROUP CO-A　/　ピンアン・インシュアランス　/　中国平安保険
中国の大手保険会社。また、不動産保険、損害保険も手掛ける。銀行、フィンテックへも参入。

4 WUXI APPTEC CO LTD-A　/　ウーシー・アプテック　/　無錫薬明康徳新薬開発
創薬・研究開発・製造を一貫して請け負う新薬受託会社で、中国最大手。世界的な大手メーカーからバイオ医薬品メーカー、創薬ベンチャーまで多様な顧客にサービスを提供する。

5 NEW CHINA LIFE INSURANCE CO-H　/　ニュー・チャイナ・ライフ・インシュアランス　/　新華人寿保険
中国全土で生命保険、健康保険、事故保険、年金型保険などを幅広く展開。中国政府および国民の長寿化や高クオリティな医療ニーズの高まりを背景として長期的な収益成長を期待。

6 BANK OF JIANGSU CO LTD-A　/　バンク・オブ・ジャンスー　/　江蘇銀行
江蘇省内にあった都市商業銀行10行が合併し、2007年に誕生した江蘇省の都市商業銀行。江蘇省を中心とした長江デルタ地域で法人向け銀行業務、個人向け銀行業務、トレジャリー業務など各種銀行業務を手掛ける。

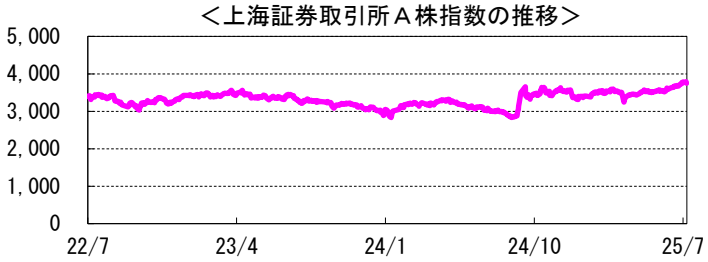
7 EOPTOLINK TECHNOLOGY INC L-A　/　エオプトリンク・テクノロジー　/　成都新易盛通信技術
光モジュールの研究と開発（R&D）、製造に従事する。同社の光トランシーバーモジュールは、AIやMLクラスタリングおよびクラウド・データセンターに使用される。今後のAI普及が成長ドライバーに。

8 JIANGSU HENGRUI MEDICINE CO-A　/　ジャンスー・ハンルイ・メディスン　/　江蘇恒瑞医薬
医薬品メーカー。各種医薬品の研究、開発、製造、販売を手掛けている。抗がん剤、手術用麻酔薬、特殊輸液、造影剤、心血管薬など、先端製品を製造・販売する。

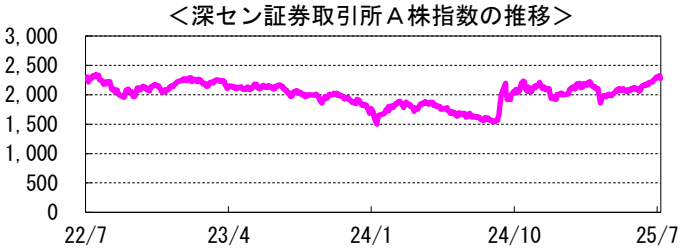
9 KINGNET NETWORK CO LTD-A　/　キングネット・ネットワーク　/　愷英網絡
中堅ゲーム会社。インターネットゲームの開発やプラットフォームの運営を手掛け、最近はVRゲームにも進出。内部管理の問題で一時業績が低迷していたが、体制を一新してからは業績拡大中。

10 SEMICONDUCTOR MANUFACTURING　/　SMIC　/　中芯国際集成電路製造
中国最大の半導体生産受託会社であり、国内外の企業を顧客とする。半導体の国内生産化を目指す政府の成長戦略jの中核的な企業として、中長期的な技術力の向上と収益成長が見込まれる。

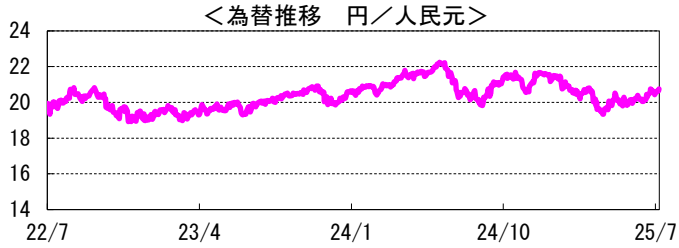
＜上海証券取引所Ａ株指数の推移＞



＜深セン証券取引所Ａ株指数の推移＞



＜為替推移　円／人民元＞



（出所：各種資料を基に日興アセットマネジメントが作成）

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／海外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2005年2月28日設定）
決算日	毎年9月21日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・上海証券取引所の休業日 ・深セン証券取引所の休業日 ・中国の銀行休業日 ・購入・換金の申込受付日から起算して7営業日目までの期間中に、上海証券取引所の休業日、深セン証券取引所の休業日または中国の銀行休業日が2日以上ある場合
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.3%（税抜3%）以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金時の基準価額に対し0.3%

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率2.31%（税抜2.1%）
その他の費用・手数料	監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド
受託会社	みずほ信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項
〇リスク情報
・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
・当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。
主なリスクは以下の通りです。
価格変動リスク
・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
流動性リスク
・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。
信用リスク
・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
為替変動リスク
・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。
カントリー・リスク
・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。
・中国の証券市場および証券投資に関する枠組み（決済システムなど市場インフラを含みます。）には、様々な制限および制約があります。これらの制限および制約は、大部分が中国証券監督管理委員会（ＣＳＲＣ）および国家外貨管理局（ＳＡＦＥ）の裁量によって行なわれます。海外からの投資規制や海外への送金規制など種々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更などによる新たな規制が設けられた場合には、ファンドにおいて換金代金等の支払いが遅延したり、投資対象市場に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。
・上海や深センのストックコネクト（株式相互取引制度）を通じた中国Ａ株への投資においては、取引可能な銘柄が限定されていることに加えて、投資枠や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、ストックコネクト特有の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる可能性があります。さらに、ストックコネクトにおける取引通貨はオフショア人民元となり、ＱＦＩＩ制度の取引通貨である中国本土のオンショア人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。こうした要因から、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。
※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

当資料は、投資者の皆様に「日興ＡＭ中国Ａ株ファンド（愛称：黄河）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は　日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社あおぞら銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第8号	○		○	
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者　マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社ＳＭＢＣ信託銀行 ※右の他に一般社団法人投資信託協会にも加入	登録金融機関	関東財務局長（登金）第653号	○	○		○
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社ＳＢＩ証券 ※右の他に一般社団法人日本ＳＴＯ協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社ＳＢＩ新生銀行 （委託金融商品取引業者　株式会社ＳＢＩ証券） （委託金融商品取引業者　マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第6号	○		○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

日興アセットマネジメントからのお知らせ

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は
アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。

amova
アモーヴァ・アセットマネジメント

アセットマネジメント(am)を
ムーヴ(move)する

社名変更後URL：www.amova-am.com

※社名のみの変更です(主要株主は引き続き三井住友トラストグループ株式会社となります)